

## 被表彰団体および個人

## &lt; 「星空の街・あおぞらの街」 全国大会表彰 &gt;

## I 環境大臣賞受賞者

## 1. 団体部門

<small>らいとだうんこうふばれーじっこういんかい</small> <b>ライトダウン甲府バレー実行委員会</b> （山梨県）
<p>光害への理解と低減を目的として、きれいな星空を取り戻す活動「ライトダウン甲府バレー」を毎年実施している。この取り組みは、企業や公共施設等に消灯への協力を呼びかけ、午後8時～9時までの1時間、消灯を実施するとともに、各会場で、参加者と共に星空観察と光害についての勉強会を行っている。さらに、活動を盛り上げるイベントも行っている。また、後日、報告集を関係先に配布するとともに、ホームページにおいてライトダウンの模様やフォトマップを公表し、身近な大気環境や光害について関心をもってもらえるよう努めている。</p>

## 2. 個人部門

<small>あおしま あきら</small> <b>青島 晃</b> （静岡県）
<p>光害が環境問題として取り上げられ始めた平成5年から、浜松北高校の地学部の生徒と共に、浜松市を中心とした光害調査の指導を開始した。この調査では、浜松市で進行している光害を、カメラで撮影した星空のネガを照度計で測るとい、現在ではすでに定着化している分析方法を、全国に先駆けて実施したり、中学生にアンケートを行い、これを統計的に処理して、光害の進行状況を分析するというユニークな方法を用いたりして、当時としては珍しい光害地図を作製した。さらに、分光器を用いて光害のスペクトル分析を行い、光源を特定した。これらの成果により、平成11年には指導した地学部が、日本学生科学賞にて環境庁長官賞を受賞した。</p>

## II 「星空の街・あおぞらの街」 全国協議会会長賞受賞者

## 1. 団体部門

<small>ちばけんりつまつどこうとうがっこうちがくぶ</small> <b>千葉県立松戸高等学校地学部</b> （千葉県）
<p>毎年全国星空継続観察活動に積極的に参加し、観察会を通して、大気保全意識の普及啓発や観察技術の向上に努めてきた。数年間における夜空の変化を文化祭で発表している。酸性雨調査は部員の自宅にも装置を設置し、広範囲の調査を実施し、文化祭で発表している。</p>

## 2. 個人部門

<small>みのわ としゆき</small> <b>箕輪 敏行</b> （神奈川県）
<p>早くから天文学の普及と観測に力を注ぎ、日本アマチュア天文研究発表大会の第二代運営委員長を勤めた。第一期の星空を守る会（会長：故青木正博氏）の事務局長として回転サーチライト禁止、ジャコビニ流星群出現予想時の消灯キャンペーンに尽力した。</p>